特別鼎談：抗老化研究と社会実装について

ひらた　じゅん
平田潤

ヘルスサイエンス研究所 研究開発ユニット長

業務経験

2021年　帝人ファーマ株式会社　創薬探索研究所 所長

2024年　同　創薬研究所 所長

2025年　キリンホールディングス株式会社
　　ヘルスサイエンス研究所 研究開発ユニット長

その他

専門領域は免疫学およびデータサイエンス。
研究の軸足を、疾患のサイエンスからデータサイエンス、さらに健康のサイエンスへと移しつつ、領域横断的な視点で研究に取り組む。
現在は、ヘルスサイエンス研究所において、
「乳酸菌*L.*ラクティス プラズマ（プラズマ乳酸菌）」に関する最新研究をはじめ、様々な機能性素材を対象とした研究開発を推進している。

てらもと　さちゆき

寺本祐之

ファンケル総合研究所　所長

業務経験

1995年　株式会社ファンケル入社、食品科学研究所
サプリメントの研究開発

1999年　商品企画開発・生産本部
発芽、青汁を中心とした商品企画

2010年　機能性食品事業部　事業部長

2011年　機能性食品研究所　所長

2025年　3月より現職。

その他

特定保健用食品制度に関する検討会（消費者庁）委員などを担当し、健康食品に関する研究開発での課題を中心に業界の意見を行政などに提案している。

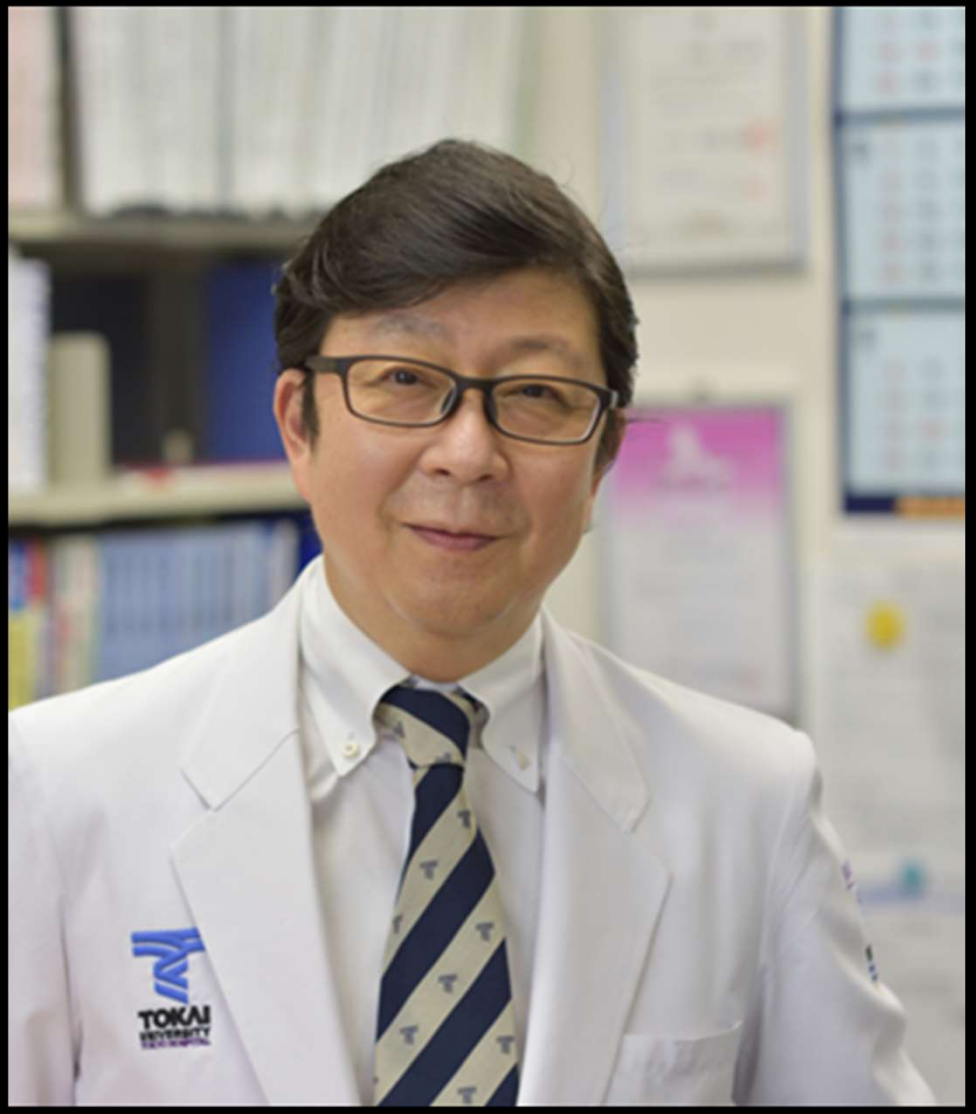
にしざき　やすひろ

西﨑泰弘

プロフィール

1986年東海大学医学部卒業。
慶應義塾大学医学部大学院、UCLAリサーチフェローを経て、
現在、以下役職

・東海大学医学部総合診療学系健康管理学領域 主任教授
・東海大学大学院医学研究科ライフケアセンター長
・東海大学医学部付属病院（伊勢原）健診センター長
・日本総合健診医学会　理事長
・国際健診学会（IHEPA）理事長
・NPO法人健康長寿研究教育センター　理事長



研究分野・その他紹介

専門は予防医学、抗加齢医学、消化器肝臓病学。

過去に「乳酸菌L.ラクティス プラズマ（プラズマ乳酸菌）」との共同研究にも関わっている。

2006年に東海大学医学部付属東京病院病院健診センターに

「抗加齢ドック」を開設。抗加齢ドッグの先駆者。

予防医学のスペシャリストとして、メディアに多数出演している。

抗老化研究は今

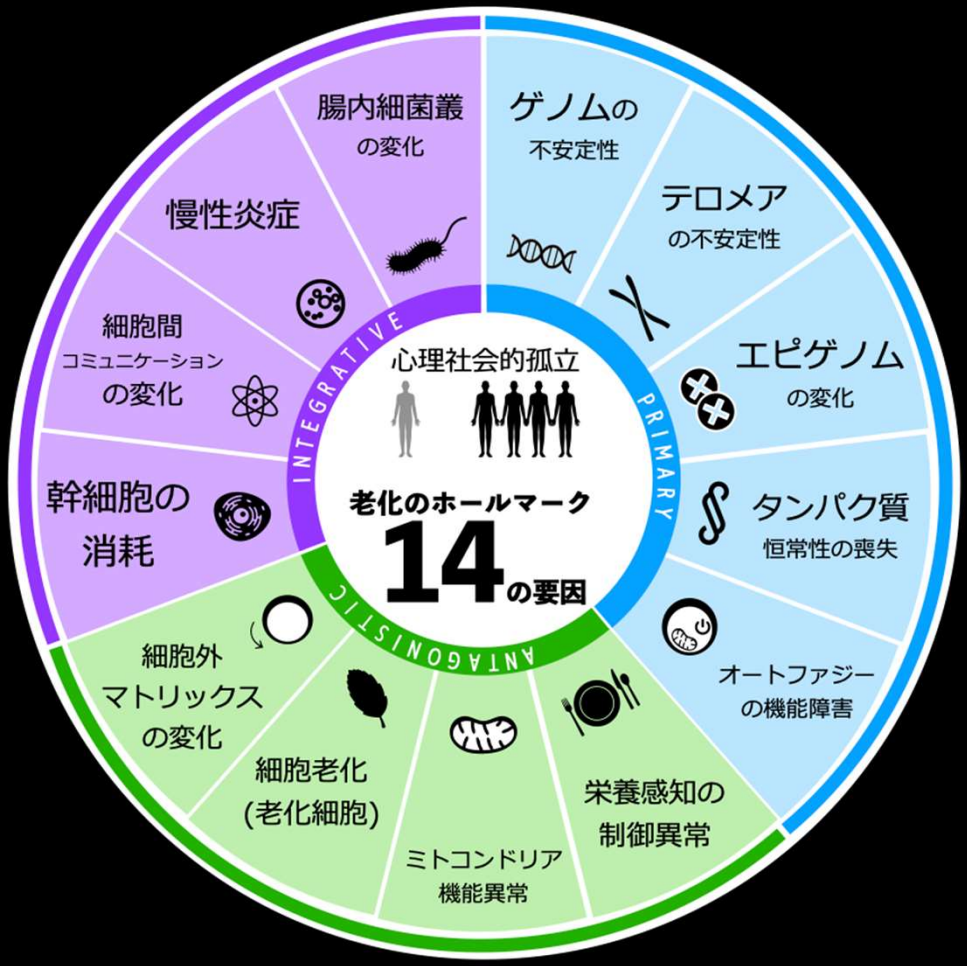
抗老化研究は今活況にあり、サイエンスで解き明かされつつある

10年若返らせたら

賞金1億ドル

Xプライズ財団　コンペティション

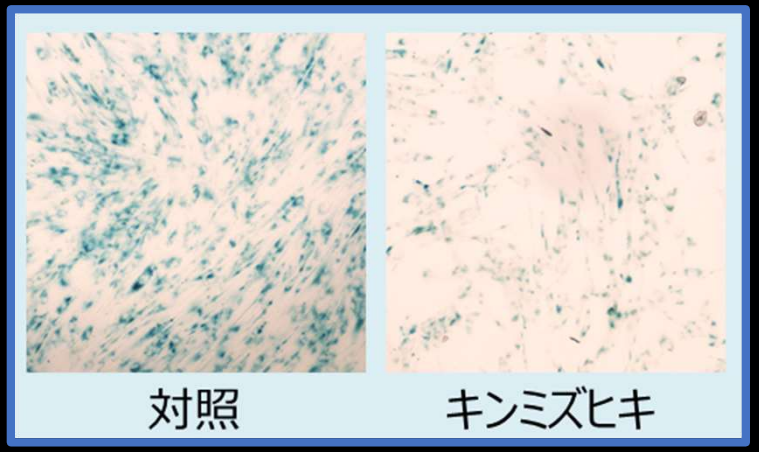
50～80歳の男女に**1年以内の「治療」**を施し、
筋力、認知力、免疫を10～20歳若返らせる
ことを目標とした2030年までの世界的なコンペ

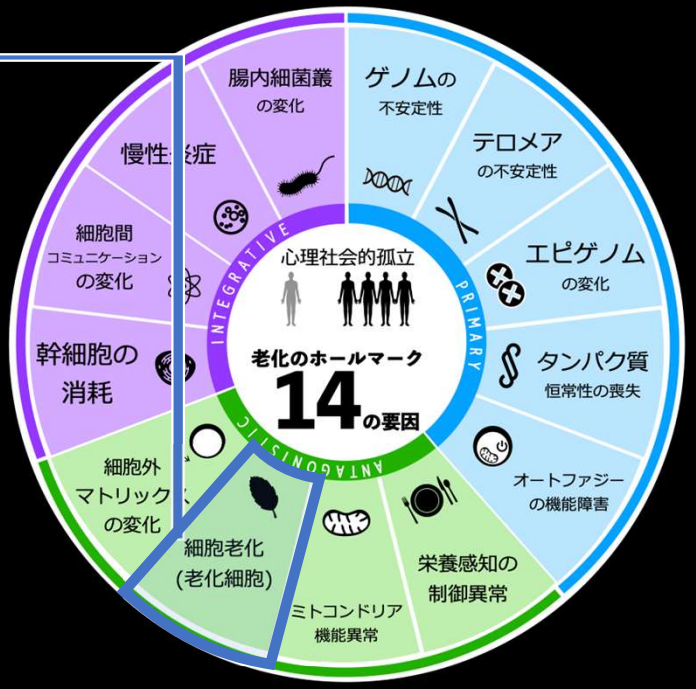


キンミズヒキ

学名　　：*Agrimonia pilosa* Lebeb.
山野に自生するバラ科の多年草。古くから民間薬として用いられている。

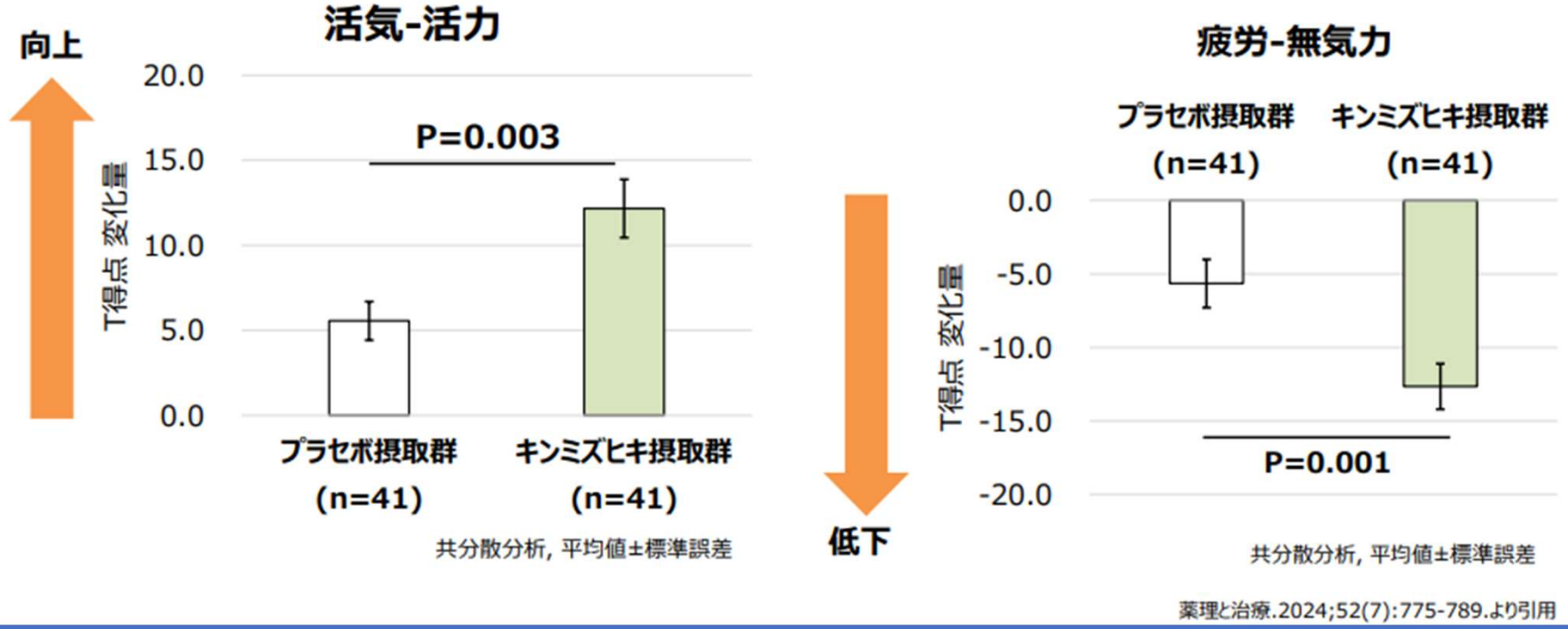
老化細胞減少作用発見





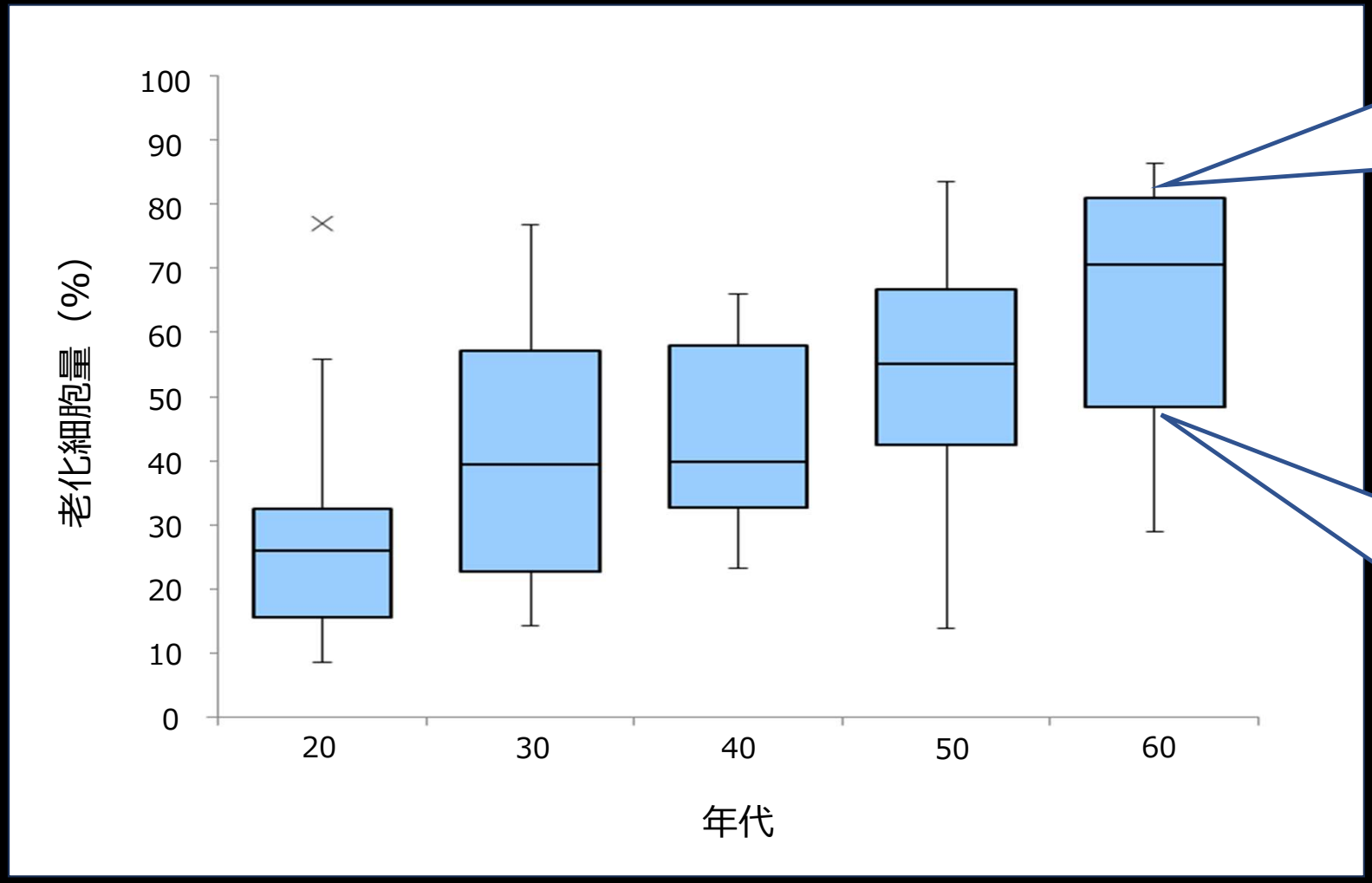
2015年脳機能素材として、約4000種類の素材の中から選定、2020年に老化細胞減少作用が見つかる。

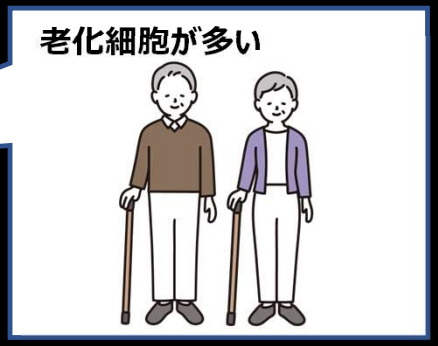
キンミズヒキによる抗老化作用



薬理と治療.2024;52(7):775-789.より引用

老化細胞を評価する


100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
老化細胞量（%）
20
30
40
50
60
年代


老化細胞が多い

老化細胞が少ない

日本の健康長寿のカギと「食」

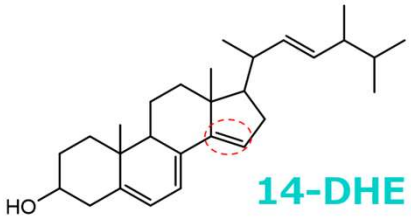
醗酵・バイオサイエンスのキリンは発酵食品「麹」に着眼

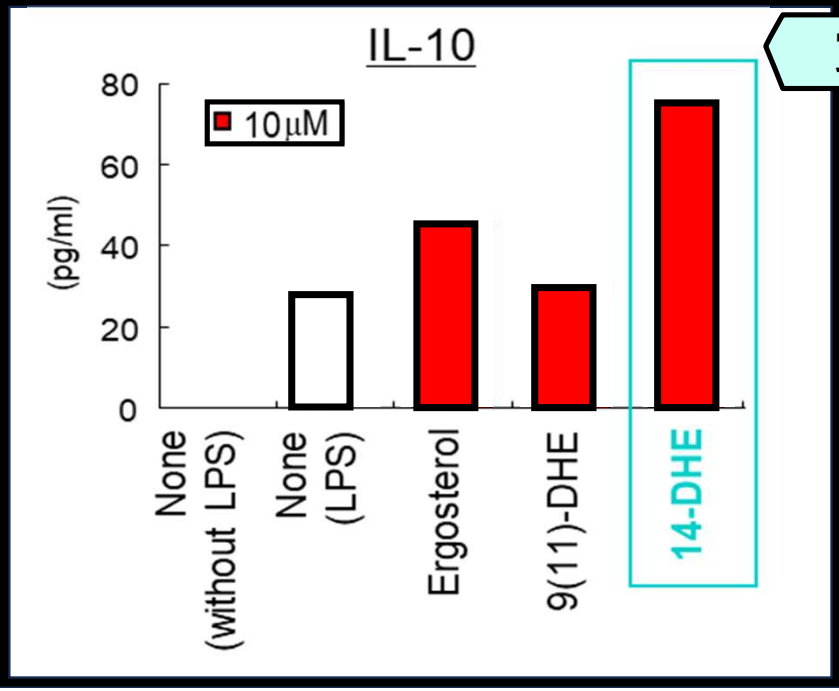
疫学調査で麹の発酵食品が肌に良い報告：
味噌などで肌水分量や肌のキメが改善されるなど

麹を使った食品が肌に良いという情報の浸透：
杜氏の肌が白い、甘酒は美肌によいなど

麹の関与成分14-DHE

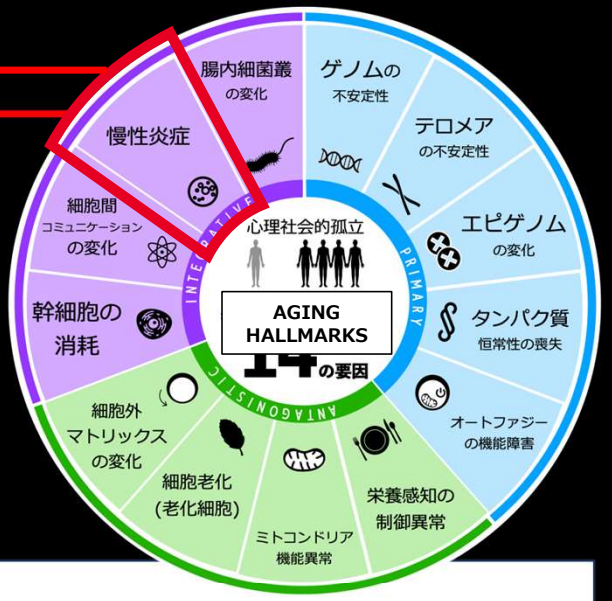
14-デヒドロエルゴステロール

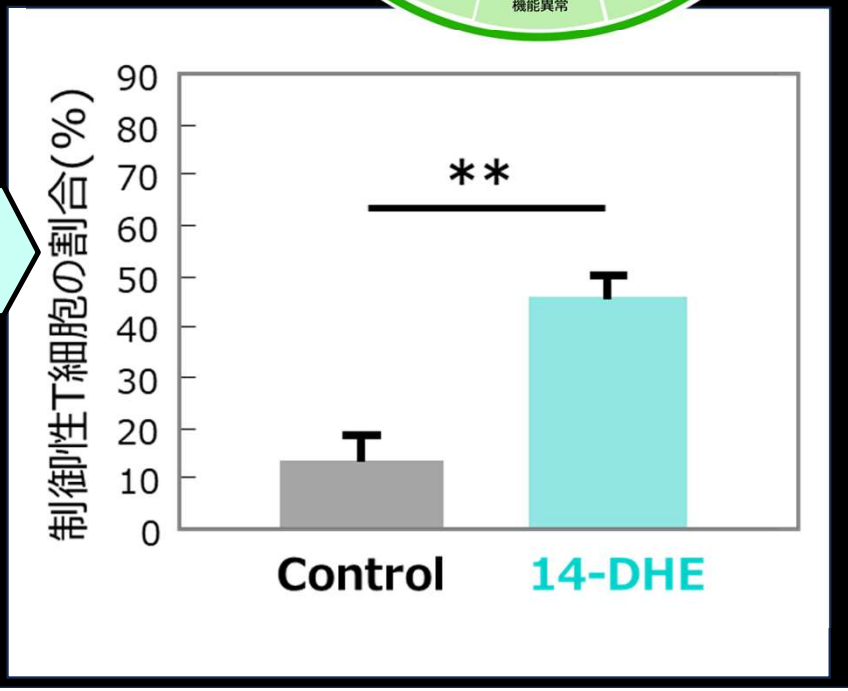




寛容性DCの誘導

制御性T細胞(Treg)の誘導

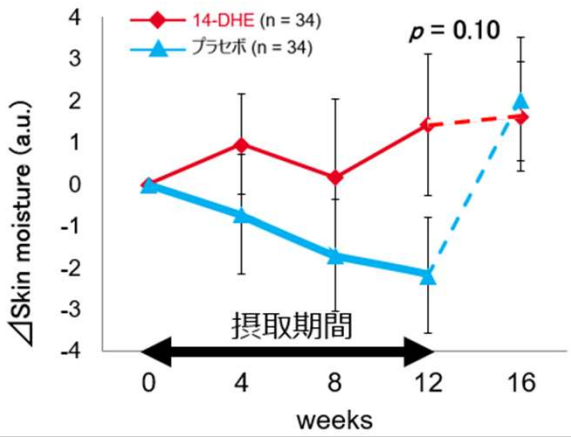




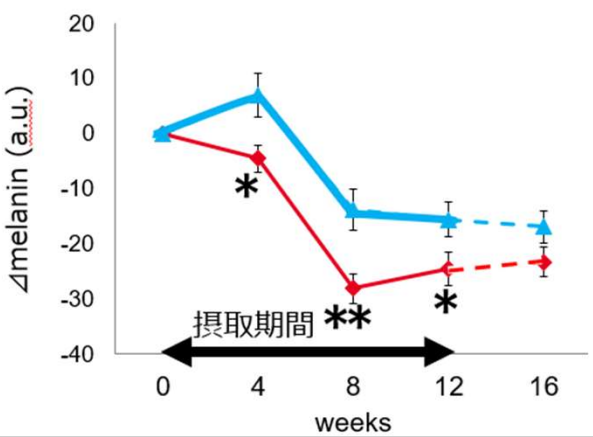
14-DHEの機能

ヒト試験(RCT)サマリー　**14-DHEをサプリメントの形態として0.2 mg/日摂取**

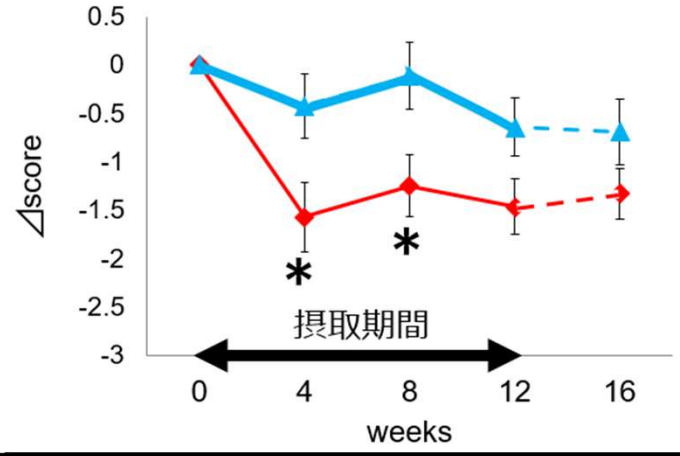
皮膚水分量



メラニン量



肌のうるおい



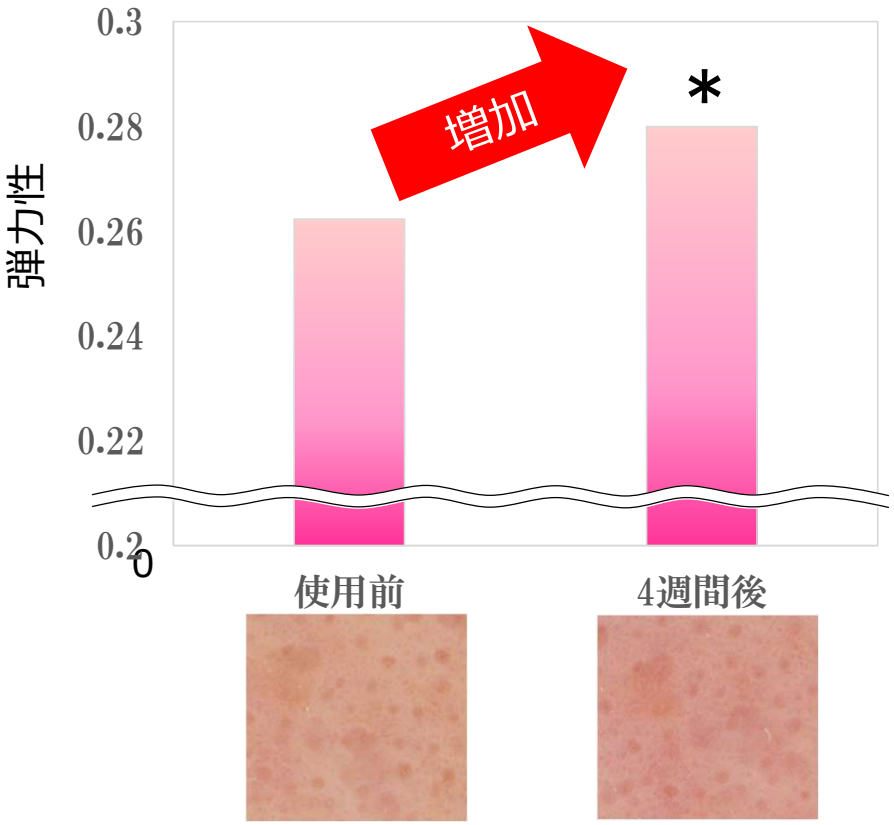
有効性結果

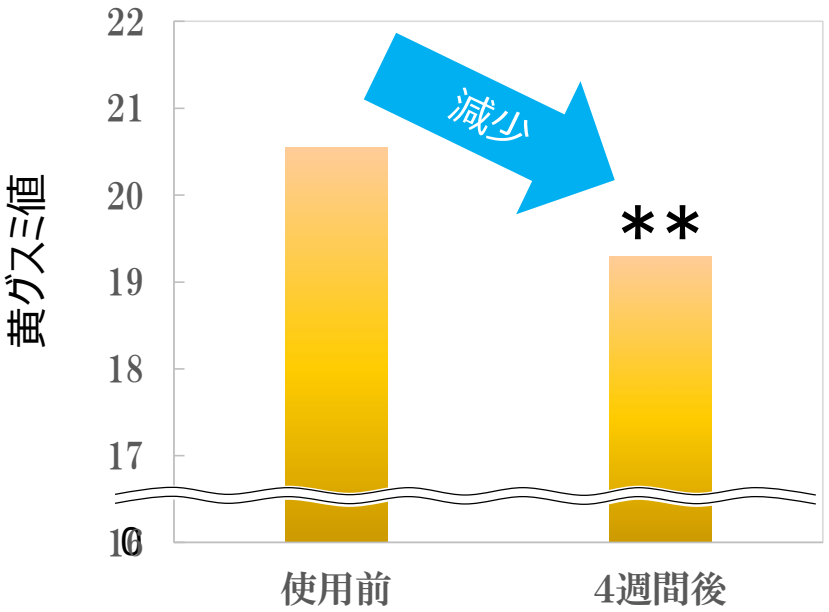
- **皮膚水分量の維持・向上**を14-DHE摂取で確認
- **メラニン量の減少効果**を14-DHE摂取で確認
- **肌の血色を改善**する効果を確認
- 40代女性でより**肌の調子が良くなる体感向上**を確認

ファンケルとの協業

エイジングサインの黄グスミやハリが改善

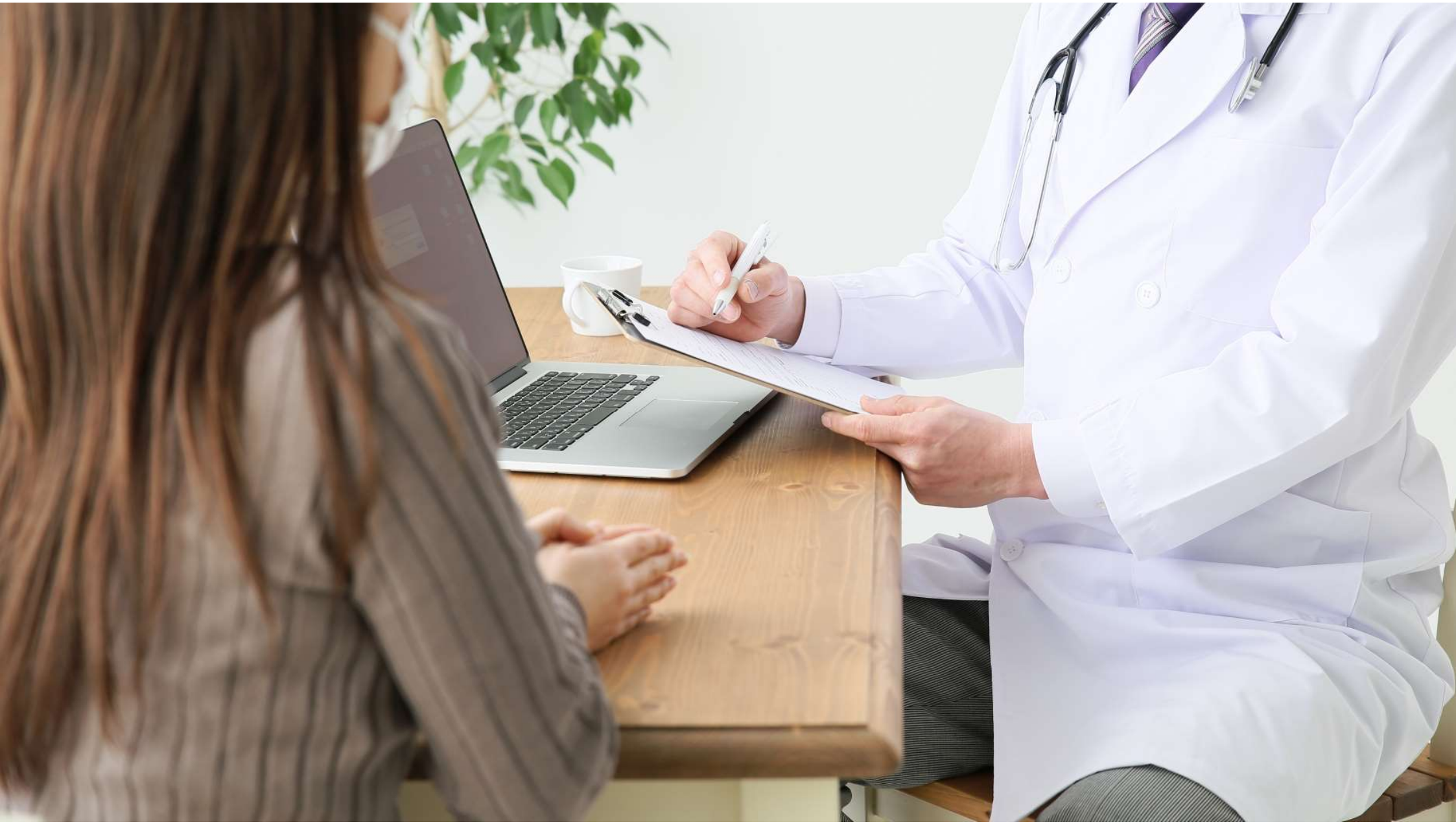
50歳以上の女性　14-DHE配合美容液（モデル処方）4週間連用



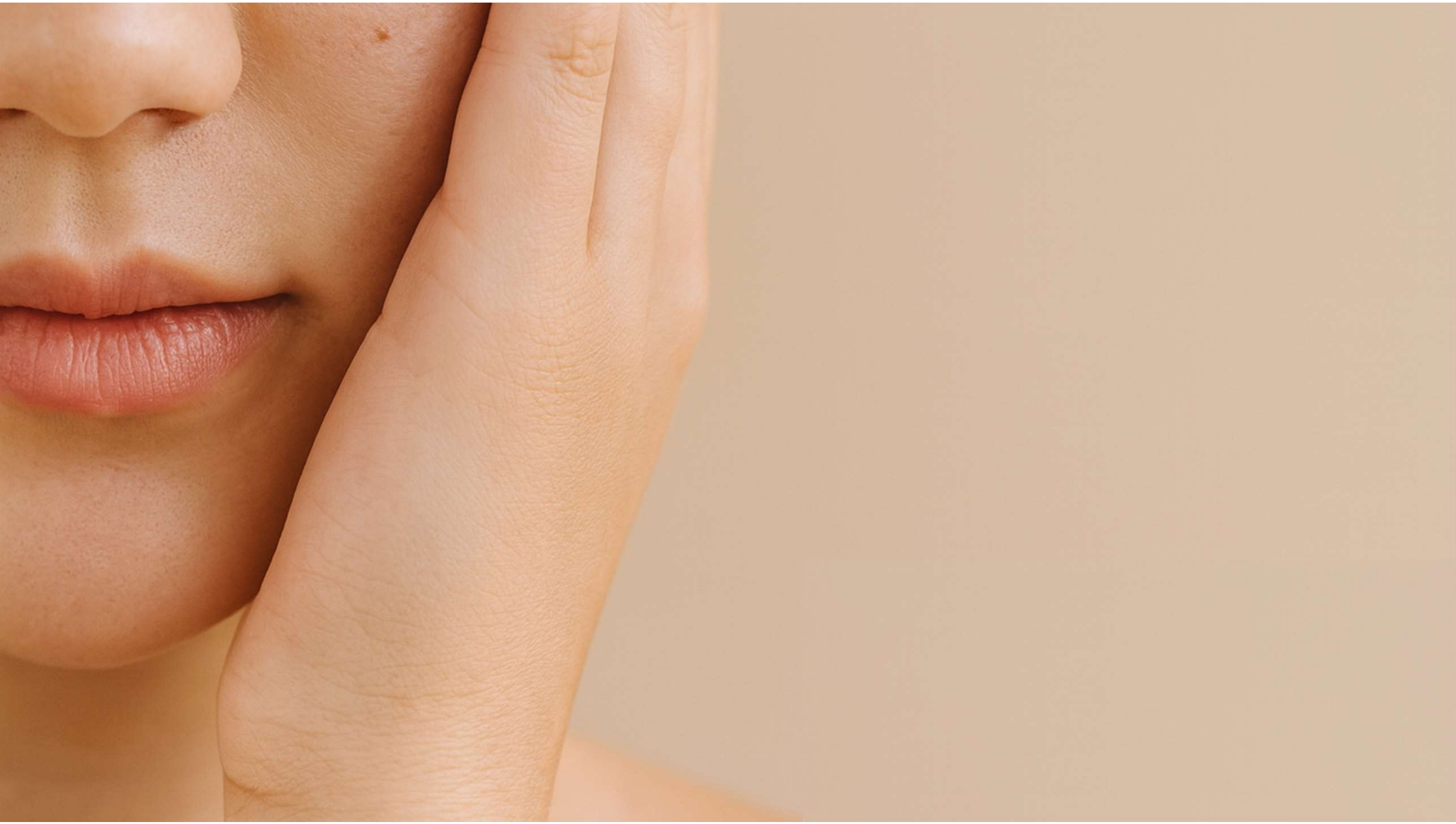


2021年第39回日本美容皮膚科学会大会より

【クロストーク】
お客様が望んでいるエイジングケアとは



老化を改善できる成分"キンミズヒキ"をファンケルが発見



本日のまとめ